

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化予定箇所）

担当課：有料道路課

担当課長名：木村 昌司

路線名	北海道横断自動車道 根室線 余市～小樽		事業区分	高速自動車道	事業主体	東日本高速道路(株)
起終点	自：北海道余市郡余市町 至：北海道小樽市			延長	24 km	
事業概要						
北海道横断自動車道根室線は、北海道寿都郡黒松内町を起点に、小樽市を經由し、政令指定都市である札幌市で北海道縦貫自動車道と接続し、その後新千歳空港の位置する千歳市にて分岐し、夕張市、帯広市、釧路市を經由して根室市に至る延長538 kmの高速自動車国道である。						
事業の目的、必要性						
余市町～小樽市間の整備により、倶知安町と小樽市間等の時間短縮、交通安全性の向上、並行する一般国道5号の混雑緩和・地域環境改善、災害時の代替路確保、沿道地域の住民生活の向上及び地域産業の活性化が期待される。						
全体事業費	1,062億円			計画交通量	9,500～9,900台/日	
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	2.4	793億円 （事業費：717億円 維持修繕費：76億円）	1,873億円 （走行時間短縮便益：1,715億円 走行経費減少便益：105億円 交通事故減少便益：53億円）	平成17年		
感度分析の結果						
交通量変動：B/C=2.7（交通量+10%） B/C=1.9（交通量-10%） 事業費変動：B/C=2.2（事業費+10%） B/C=2.6（事業費-10%） 割引率変動：B/C=2.0（割引率+1%） B/C=2.8（割引率-1%）						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> 指標3（高次医療施設までの搬送時間が短縮される） →安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる（余市町⇄市立札幌病院）） 指標4（拠点都市間を連絡し、相互の連携が図られる） →国土・地域ネットワークの構築（当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する（倶知安町⇄札幌市）） 指標8（農林水産品の物流利便性が向上する） →物流効率化の支援（農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性が向上（積丹町（ウニ）、余市町（サクランボ、エビ等）） <p style="text-align: right;">他10項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
当該区間は、観光資源が豊富な積丹半島地域と道央圏を結ぶ道内における重要な観光ルートであると同時に、並行する国道5号のバイパスとして、慢性的な交通渋滞の解消、救急医療、災害時の代替ルートとして重要であり、既に環境影響評価を終え着工のための諸調査もほぼ終了していることから、有料方式での整備を要望されている。（北海道）						
事業概要図						

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。